

仕 様 書

1 業務名称

「札幌市交通局 安全報告書 2025」デザイン・レイアウト業務

2 規格・仕様

(1) 本編

ア 判 型 A4判 (くるみ製本)

イ ページ数 30 ページ程度 (表・裏表紙 4 ページ、本文 25 ページ程度)

ウ 色 数 表紙・本文ともに4色カラー

(2) ダイジェスト版

ア 判 型 A3両面 1頁4つ折り

イ 色 数 表紙・本文ともに4色カラー

3 業務内容

(1) 表紙・誌面のデザイン及びレイアウト制作

本市が提供する原稿・写真等の資料を基に、表紙 (表・裏) 及び本文のデザイン、レイアウトを行う。

本 編 原 稿 : 昨年度の資料を PDF 形式とイラストレーターにて
でデータを提供。

他、修正資料については、Word や Excel で提供予定

ダイジェスト版原稿 : Excel 形式でデータを提供

写 真 : JPG 形式で提供予定。

(3) 校正

2回

4 スケジュール(予定)

日程	内容
5月末日まで	・委託者からの入稿
6月20日(金)	・ページ割り・デザイン案 確定 ・初校提出
6月27日(金)	初校戻し
7月4日(金)	2校
7月11日(金)	2校戻し
7月18日(金)	3校
8月1日(金)	3校戻し
8月8日(金)	納品

5 成果物

納品物として以下のデータを提出すること。

(1) 印刷用データ PDF

表・裏表紙用データ（くるみ製本のため A3 版）と本文データを、それぞれページ順に並べて作成する。いずれも印刷に耐えうる高画質なデータとすること。

(2) ホームページ掲載用データ PDF

A4 版 で表紙と本文を順に並べた形でデータを作成する。ホームページ上に掲載するため、「安全報告書」全体を 4 MB 以下とすること。ただし、4 MB 以下のデータの作成が困難な場合には、可能な限り圧縮したデータとすること。

(3) 原稿オリジナルデータ

上記(1)、(2)を作成した編集可能なオリジナルデータを提出すること。

(4) 上記(1)、(2)、(3)のデータが保存されたメディア 1 枚 (DVD-R)。

メディアのフォーマットは Windows に対応したものであること。

6 履行期間

契約締結日から令和 7 年 8 月 29 日（金）まで

7 納品先

札幌市交通局 高速電車部 業務課（札幌市厚別区大谷地東 2 丁目 4-1）

8 留意事項

- (1) 本業務履行にあたり、疑義が生じた場合は、委託者及び受託者双方の協議により処理する。
- (2) 委託者から提供を受けた資料などは、本業務にのみ使用するものとする。ただし、第三者に提供する場合であらかじめ委託者の承諾を得たものについてはこの限りではない。
- (3) 本業務の遂行にあたり、必要がある場合は相互調整のため打ち合わせを行うものとする。
- (4) 本業務の成果物の著作権（著作権法第 27 条・第 28 条に規定する権利を含む）、所有権等、その他の一切の権利は委託者に帰属するものとする。また、成果物の著作者人格権について、受託者は将来にわたり行使しないこと。
- (5) 委託業務の成果物に使用する写真、イラスト等について、第三者が権利を有する著作物である場合には、著作権その他知的財産権に関して必要な手続き及び使用料等の負担は受託者の責任において行うこと。
- (6) 原稿の作成に当たっては本市が作成した「広報に関する色のガイドライン改訂版」(<https://www.city.sapporo.jp/koho/color/index.html>)を参考とし、誰にとっても見やすく、分かりやすいデザインとなるよう配慮すること。
- (7) デザインの露出に伴い、第三者から権利侵害の訴えその他の紛争が生じたときは、受託者は自己の費用および責任においてこれを解決するも

のとし、かつ委託者に何らかの損害を与えたときはその損害を賠償するものとする。

- (8) 本業務の履行にあたり、本市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。

環境方針

1 基本理念

札幌市役所は、地球環境への負荷を継続的に低減するため、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減など、環境配慮取組の推進に努めてきました。

近年、気象災害をはじめとした気候変動の影響が深刻化する中、脱炭素社会の構築に向けて、気候変動対策は大きな転換期を迎えています。

札幌市においても、地球の平均気温の上昇を1.5℃に抑える努力を追求するというパリ協定の目的を踏まえて、2050年の目標に「温室効果ガス排出量を実質ゼロにする（ゼロカーボン）」を設定するとともに、2030年についても高い目標を掲げて温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいくこととしました。

札幌市役所は、市域の温室効果ガスの約6%を排出する市内最大級の事業者であり、自ら排出量の削減に率先して取り組む姿を市民・事業者へ示していくことが必要です。

そのため、徹底した省エネルギー対策を進め、そのうえでどうしても必要なエネルギーは再生可能エネルギーへと転換していくことを基本的な方向として、環境マネジメントシステムによる継続的改善を図り、札幌市役所の事務事業に伴うエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を着実に削減していきます。

また、国連「持続可能な開発目標（SDGs）」の視点を踏まえ、環境配慮取組を推進することで、温室効果ガス排出量の削減のみにとどまらず、経済、社会分野の統合的解決を目指すとともに、市民・事業者・行政が協働し、一体となって脱炭素社会に向けて取り組むことで、「心豊かにいつまでも安心して暮らせるゼロカーボン都市『環境首都・SAPPORO』」の実現を目指してまいります。

2 基本的方向

全ての部局は、所管する事務事業について、環境に関する法令を遵守することはもとより、SDGsの視点も踏まえながら環境配慮取組を推進し、脱炭素社会の実現に向けて、以下の項目に重点的に取り組みます。

- 1 徹底した省エネルギー対策を進めます。
- 2 再生可能エネルギーの導入を拡大します。
- 3 移動における脱炭素化を進めます。
- 4 廃棄物の発生・排出を抑制し、省資源・資源循環を推進します。
- 5 環境負荷の少ない製品やサービスを利用します。
- 6 事務事業のみならず、公共工事・委託業務における環境負荷を低減します。
- 7 環境問題に関する啓発・教育活動を推進します。

この環境方針による環境活動の成果は、市民に公表するとともに、市民からの意見を市政運営に反映させていきます。

令和3年4月1日

札幌市長 秋元克広

札幌市環境局